

女子部・男子部

3年目に入った教科「TLP」

全学教諭（キリスト教） 後藤田典子

真の自由人への成長を願って2021年度より始まった本教科は、今年度受講学年が高等科2年まで広げられた。学園長以下関わってきた教員達で昨年度末にカリキュラムを検討し、今年度は授業内容によつて前期・後期に分けて担当者6名体制でスタートした。本学園の土台となるキリスト教・聖書と、創立者の建学の願いとこれまでの歴史をその内容とする本教科は、中高6年間の授業時間だけで学び得られるものではない。礼拝や懇談・自治の活動を始め、学校生活の全体に及ぶ土台と方向性を確認する時間となるように、と努められた。

1. 今年度の授業展開

① 「キリストを知る」と「自由学園を知る」の2領域で実施

2021-2022年度の課題の一つが、長く続けられてきた「読書」の踏襲だった。創立者の著作を読む・学園の歴史を知る、との内容を含む時間を確保する試みとして、各学年前期後期に分けて実施。

② 担当者

	「キリストを知る」	「自由学園を知る」
中1	後藤田典子	村上 民
中2	後藤田典子	角田 望（女子部） 村上 民（男子部）
中3	後藤田典子	寺尾恵理子（女子部） 竹上 尚子（男子部）
高1	松坂政広	寺尾恵理子（女子部） 内藤 優子（男子部）
高2	後藤田典子	村上 民

* 松坂は教会の牧師として聖書を中心に授業を、
村上は本学園の資料室の100年史編纂者として
本学園を知る内容を受け持った。資料室員の立
場からTLPを支える授業者として関わり、授業だ
けでなく広く学園理解に応用可能な資料の提示
に取り組んでいる。

③ 内容

中1 前期	創立者・学園創立に至る経緯を知る
後期	キリスト教概観・主イエスの生涯を知る
中2 前期	創立者の思想・創立に至る経緯等を知る
後期	出エジプトの物語から「自由」を考える
中3 前期	主イエスの教えから「愛」を考える

後期：創立者の思想や文章に触れ「自由」につ
いて考える

高1 女子部 前期：旧約聖書に触れ創世記を読む
後期：羽仁もと子著作集「教育三十年」
などを基に創立者の思想・創立
に至る経緯を知る

男子部 前期：「教育三十年」などを基に創立者
の思想・創立に至る経緯を知る

後期：旧約聖書に触れ創世記を読む

高2 前期：主イエスの教えから「愛」を考える
後期：創立者の思想・創立に至る経緯等を知る

* 中1と高1の1学期始めは、高橋学園長より自由
学園についての案内の授業がなされた。

④ 使用教材・評価

年度当初のシラバス作成時通りに実施

⑤ 学外での授業：明日館見学

コロナ禍対応の緩和を受け、1学期末7月13日に
男子部(中1～高2の生徒)が、2学期末12月18日に
女子部生徒(同じく)が、自由へ出かけることができた。
どちらにも新任教員や高3の見学希望者も同行した。

⑥ その他

高等科3年は、従来の「読書」が学園長や担任によつて引き続いて行われた。来年度からTLPの授業が6学年全クラスで実施になる。

2. 教科部会の発足・開始

今年度より6名の担当者で構成できたので会議を開くこと

ができるようになった。協議・審議・決議を行い、試行錯誤しながら「TLP」形成をする過程の軌跡を、各部でも共有するようにした。

これまで本務教員が1名で便宜上教科部長も務めてきたが、今年度は会議体制を組み改めて教科部長としての役割も確認でき、会議録も整えることができた。

① 開催 9回

5/10 5/26 6/1 6/22 7/21 9/26

10/11 12/12 2/26

* 2/6に次年度の授業担当者で小さな会議を開催し、授業計画等を作成。それを原案として本会議に提案した。

② 主な会議の議事内容

- ・各クラスの授業の共有
- ・次年度の授業計画(内容と時間数と担当者の検討)
- ・成績評価に関すること
- ・授業のネライと生活との繋がり(礼拝や懇談等)
- ・「TLP」と学部「自由学原論」の繋がり
- * 各議事の協議中、しばしば論点が学園全体に関わるキリスト教教育となり、全体に関わるキリスト教教育の方向性が、中高のこの一教科の方向性にもなる相関関係に在る事が確認された。

③ 参加メンバー 8名

「キリストを知る」 松坂政広 後藤田典子

「自由学園を知る」 高橋和也学園長

村上民 角田望 寺尾恵理子

竹上尚子 内藤優子 菅原然子

陪席 更科幸一(女子部部長) 佐藤史伸(男子部部長) 近藤紫織(男子部教員)

* 昨年度まで中高に属する教員が不在だったが、本年度は情報不足を補ったり生徒の動きを掴めるようになったり、一教科を越える視点を得られ感謝している。

* 資料の多い授業補助に来ていた菅原も後半から会議へ出席するようになった。

3. 次年度に向けて

① 授業について

男女共学化に伴い中等科高等科の校舎に分れる新たな展開の時を迎えるにあたり、手堅く授業を行えるように通年での授業計画を以下のように立てた。

中1 「自由学園を知る」 ①時系列にそった学園の歴史

中2 「キリストを知る」 ① 旧約聖書全般

中3 「キリストを知る」 ② 新約聖書全般

高1 「自由学園を知る」 ② 学園の歴史を現代の課題に対応させ、再考する

高2 「キリストを知る」 ③ キリストの祈り(キリストとは?)

高3 「キリストを知る」 ④ 私たちの祈り(課題に応じて祈る)

授業は、松坂・村上・菅原の3名で担当する。

中1・高1の年度最初にキリスト教のオリエンテーションを松坂が行い、中3・高3の適切な時期に学園長や各部長がより深く「学園を知る」時間を持つ予定。

② 学園のキリスト教教育におけるTLPの位置づけ

学園長交替となる次年度は、新学園長による新たな方針が示され、学園のキリスト教教育も変化していくだろう。

TLPという教科は中等科においては、いわゆる教科化された道徳の代替にあたるが、私立のキリスト教学校において「聖書科(宗教科)」が代替を認められた理由を踏まえると、中学のみならず学園全体の教育の背骨になる教科とも考えられる。冒頭に書いたこの教科が本学園に設置・開講された意味を、授業担当者だけでなく学園のこれから教育を積み重ねていく一人ひとり(大人も子ども)が、受け止め理解し、おおいに利用して、真の自由人に向かう教育共同体を創り出していけるように祈ってやまない。